

「第3次刈谷市教育大綱（案）」  
パブリックコメントの結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和7年11月4日（火）～令和7年12月4日（木）  
 (2) 意見の件数 6件（4人）  
 (3) 提出方法の内訳 あいち電子申請・届出システム：4件、メール：2件

2 意見の概要と市の考え方

No.	頁	意見の概要	市の考え方
1	3	学習障害の子に対して、知識がある方に見てもらうのが一番であり、教材の準備等は試行錯誤で教員の負担があるかと思う。具体的にどのように一人ひとりに合った教材・教具を準備しようと考えているのか聞きたい。	通常学級で困り感を抱いている子どもへの支援の一つとして、通級指導教室を行っております。限られた時間の中ではありますが、それぞれの困り感に即した個別の指導を行い、通級指導教室の担当教員と学級担任が情報を共有することで、一人ひとりに合った教材・教具を準備するなど、個別の支援をより充実させております。ご家庭、本人、担当教員、学級担任とで情報を共有しながら支援を行ってまいります。
2	3	総合型学び（探究/プロジェクト学習）の充実の本気で取り組むべきであると考えている。生徒たち自身が課題を見つけ、その実現のために自ら計画を立てて活動する学習を行うことで主体的・対話的で深い学びを進め資質・能力を身に付けられるようにすべきである。	主体的・対話的で深い学びにつきましては、教育活動の様々な場面で意識されていることであり、総合的な学習の時間等において、探究的な活動を取り入れております。今後も、各教科の時間数を確保しながら、探究的な学習を充実させてまいります。 具体的な施策につきましては、今後の参考とさせていただきます。
3	3	デジタルでの創造的な活動に取り組む時間を増やし、デジタルならではの力を使って「創り出す」ことの楽しさを感じられるようにしていただきたい。	情報活用能力の育成に向けた取組は今後の課題であると認識しており、「情報活用能力の育成」を新たに記載しております。 いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
4	4	自己肯定感・自己有用感の醸成を図るために、子育て経験者の力を借りてみるのはどうか。	地域学校協働活動によって学校と地域が関わる機会も増え、地域の方から認められることで自己肯定感・自己有用感を高める子どもの姿も多く見られます。 具体的な施策につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	頁	意見の概要	市の考え方
5	5	<p>給食の時間が短すぎると思う。配膳の時間を過度に急がせる取組は「食べることを疎かにしていると思う。掃除の時間を一部給食の時間に移行することで、しっかり噛んで味わって給食をいただけるようにして配慮していただきたい。</p>	<p>教育大綱は、個別具体的な施策について定めるものではなく本市の取り組むべき教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めたものとなります。食育は健やかな身体を育むためにも大切であり、喫食の時間を確保するよう、今後も努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
6	5	<p>小中学校の一部で「5分前には教室に戻り3分前には着席する」取組が残っている。</p> <p>学校のトイレ器具数は休憩時間10分でシミュレーションされている。5分前入室を課している学校には器具数を倍設置しないとイケないことになる。</p> <p>「休憩時間制限」の禁止を求める。</p>	<p>教育大綱は、個別具体的な施策について定めるものではなく本市の取り組むべき教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めたものとなります。目標時間を設定し、着席するという取組は、子どもたちの呼びかけ等による努力目標としての取組であると認識しております。</p> <p>いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>